

# 地方通信

## 東北方面

### 恵まれぬわしが村の

#### 交通路を嘆く

百萬圓の水産物と五十萬圓の特産スレートに依つて、千三百戸の村人が不況のなんのこゝいひながらも生活を續けてゐる宮城縣桃生郡十五濱村は、昔から陸上交通の便に恵まれぬため思ふやうな發展を遂げることが出来ないといふ。豊かな產物に惠れながら交通施設の不完備から、漸次衰微に向はんとする同村を、救濟しようと燃ゆるが

如き信念に依つて村民から道路狂のあだ名さへ奉られてゐる篤志家がある、それは同村雄勝濱郵便局長山下慶助氏で、數年前から釜谷峠トンネル掘鑿問題を提唱し、齊藤前代議士などの力にすがつて物にじょうじしたが、工事頗る面倒で費用が嵩むばかり

就ては人知れぬ慘苦を繰り返しながらよく萬難を排し、遂に廢道となつてゐた產業道路を活用し、而も僅か二時間の短時間で石ノ巻まで自動車の便を開始したことは、交通機關に恵まれなかつた同村民のあげて感激く能はざる所である、今度も飽くまで同道路活用論を提唱して、部落有財産をさして六千圓の寄附を縣に申込むなど、斯ぐに代議士などの方にすがつて物にじょうじしたことになつたが、それは全く山下氏の隣れにいた力であるといはれてゐる。



# 東方画

屬した自動車にも甚だしい不便を感じしめ

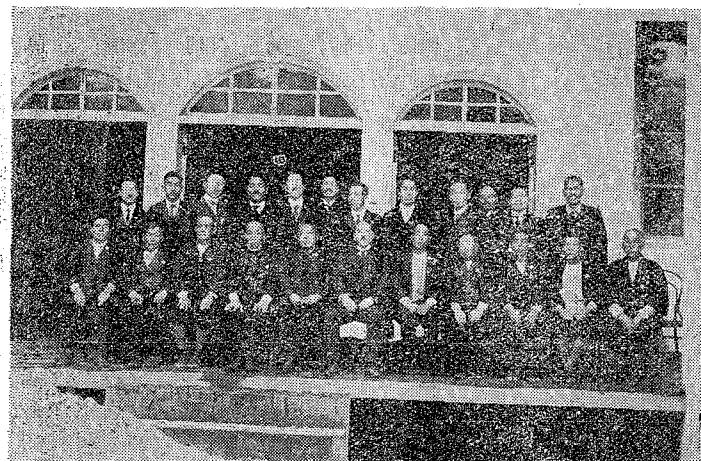
路振りを知つてゐる者の等しく喜び感謝せられてゐる。

## 茨城縣優良

### 道路常工夫表彰式

道路常工夫の働きの如何が、道路の良悪維持並に利用價值の増大に重大な關係があることは言を俟たない所であつて、茨城縣では其の配置、修路方法の指導に付特に細心の注意を拂ひ、其の目的の暢達に努めてゐるが、近來は更に路面整備、側溝の掘鑿等小修繕の直轄工事に付て

は、常工夫を指揮者として自ら仕事をする傍ら直轄人夫の監督をも兼ねしめて好成績を挙げてゐる。夫れに近來の常工夫の働き振りが、献身的のもので、從來地方民から殆んど苛め的に怨まれてゐた冬季霜に侵される道路の交通難も、今年の冬季節には殆んどこれを闇かなくなり、今次の衆議院の選舉運動に縣下異なく競



なかつた程の好成績で、ツイ先頃までの悪

縣では、これ等常工夫の不斷の努力に對しては大正十三年三月訓令乙第五八號を以て常工夫表彰規定を制定し、左記參照)毎年優良常工夫の表彰を行つてゐたが、今年は其の内特に成績優良な者に付ては表彰日を繰上げ、紀元節に行はれる各方面の表彰の式に参列せしめ、表彰狀並に金一封を授與して行賞を明らかにした。

當日の表彰式は、全國に亘つて行はれるもので、地方としては所謂晴れの舞臺であり、フロックコート、紋附羽織或いは肩章いがめじい制服姿の被表彰者の中に、法被腹掛半ズボンにゲートル巻姿の常工夫の一團が整列して居たのは特に人目を惹いた。

大禮服燐然たる森岡知事の手から表彰狀を頂戴し、眞船内務部長から金一封を受けた常工夫一同は、他の被表彰者よりも

一段深い感激に打たれてゐる様に見受けたが式後感想を叩けば、「我々の働きの微弱を以てしてかうした晴れの場所で表彰せらるることは本統に有難いことです、以後一層氣を附けて表彰せられた榮譽を毀損しない様に努力する決心です」と語つた。

當日表彰せられた者の氏名、勤務年數其の他及表影狀は次の通りである。尤も其の内河川常工夫一名を混じてあるが同人は那珂川河川常工夫の任務と附近府縣道常工夫の任務と兼てゐるものである。(谷口生)

久慈郡太田町駐在	同	上	久慈郡太田町駐在	同	上	久慈郡太田町駐在	同	上	久慈郡太田町駐在	同	上	久慈郡太田町駐在	同	上
同二十六年			寺田長兵衛			内務部			常工夫表彰規程左ノ通定ム			大正十三年三月十二日		
結城郡宗道村駐在	同	上	稻葉留吉						茨城縣知事次田大三郎					
同二十三年			北相馬郡守谷町駐在	同	上	寺田長兵衛			美城縣訓令乙第五八號					
石塚丑藏			多賀郡助川町駐在	同	上	内務部			内務部					
同十九年			影山佐平			常工夫表彰規定			常工夫表彰規定					
猿島郡八俟村駐在	同	上	鹿島郡鋤田町駐在	同	上	茨城縣訓令乙第五八號			茨城縣訓令乙第五八號					
同二十二年			田所芳之助			内務部			内務部					
内河川常工夫			同上			常工夫表彰規定			常工夫表彰規定					
同十八年			高橋秋二郎			茨城縣訓令乙第五八號			茨城縣訓令乙第五八號					
鹿島郡鋤田町駐在	同	上	第三條 表彰ヲ受ケタル者ニハ左ノ様式ノ			内務部			内務部					
同十四年			徴章ヲ貸與シ貸與ノ日ヨリ一ヶ月間法			常工夫表彰規定			常工夫表彰規定					
高橋秋二郎			被ノ左襟ニ佩用セシム			茨城縣訓令乙第五八號			茨城縣訓令乙第五八號					

但シ場合ニ依リ表彰狀ノミヲ授與スル

コトアルヘシ

第三條 表彰ヲ受ケタル者ニハ左ノ様式ノ

徴章ヲ貸與シ貸與ノ日ヨリ一ヶ月間法

被ノ左襟ニ佩用セシム

但シ佩用期間満了後三日以内ニ佩用者

モノト認ム仍テ金一封ヲ授與シ之ヲ表彰ス

之ヲ併與ス

之ヲ併與ス

ハシ

那珂郡瓜連村駐在	道路常工夫	表 彰 狀
勤續十九年	波邊丑三郎	
東茨城郡常磐村駐在 同	上	
同二十年	岩崎子之次郎	
那珂郡柳河村駐在 河川常工夫	道路(河川)常工夫	氏 名
同十六年	岩岡菊次郎	
久慈郡太田町駐在 道路常工夫	昭和三年二月十一日	
同二十二年	柏作之助	徑八分
茨城縣知事正五位勳四等 森岡二朗		



白七寶地ニ綠色茨  
葉ヲ抱合中央ニ銀

### 豊橋市 の

### 道路三十路線改修計畫

昭和三年度 十四萬五千三百九十六圓

昭和四年度 十一萬五千二百十九圓

昭和五年度 十萬五千七百八十四圓

「優」ノ字ヲ表ハシ  
其ノ上部ニ紫紺色

ニテ縣名ヲ識シ銀

色ノ輪廓ヲ附ス

第四條 徽章ハ之ヲ他人ニ貸與シ又ハ譲與

スルコトヲ得サルモノトス

第五條 徽章ヲ破損又ハ亡失シタルトキハ

自費ナ以テ修理セシメ又ハ相當價格ヲ

辨償セシム

但シ毀損又ハ亡失ガ服務上遭クヘカラ

サル事故ニ基因シタル場合ハ此ノ限ニ

アラス

第六條 表彰ヲ受ケタル者第三條ノ期間内

ニ退職シタルトキハソノ貸與ニ係ル記

章ハ直ニ之ヲ返納スヘシ

## 東海方面

は	豊橋市土木工區で交通調査	△通行人二千九百五十七人△人力車四十五台△自轉車二千九十四臺△手車二百五十九臺△牛馬五頭△牛馬車六十一臺△乘
昭和三年度	十四萬五千三百九十六圓	
昭和四年度	十一萬五千二百十九圓	
昭和五年度	十萬五千七百八十四圓	
新設等に全力を注ぎ、毎年度豫算も道路偏重の嫌ひがあるこ一部から論議される程であるが、市民の自覺發奮に依つて敷地其他面共に面目を一新した街路を形成しつゝある。既に大正十五年度と昭和二年度議決の道路改築繼續事業として、二年乃至三年間に百十餘萬圓を支出する事となつて居るが來るべき昭和三年度に於ても各方面から改修を要望し、種々の條件を具して陳情して來たので、之等を調査採擇の結果其の必要を認めるものに對し、改修新設を斷行するに決し、豫算案を市會へ提出することとなりたのである。	豊橋市では數年來市内各方面の道路擴張民の指定寄附に依り四萬圓は受益者負擔となり残る十一萬圓餘を市費支出すること	
愛知縣豐橋土木工區事務所では二月十八日午前六時から午後六時まで、同市東田町補線旭橋西方道路幅員四間の處で、交通量の調査を行つた結果其の成績は左の通りである。	豊橋市では數年來市内各方面の道路擴張新設等に全力を注ぎ、毎年度豫算も道路偏重の嫌ひがあるこ一部から論議される程であるが、市民の自覺發奮に依つて敷地其他面共に面目を一新した街路を形成しつゝある。既に大正十五年度と昭和二年度議決の道路改築繼續事業として、二年乃至三年間に百十餘萬圓を支出する事となつて居るが來るべき昭和三年度に於ても各方面から改修を要望し、種々の條件を具して陳情して來たので、之等を調査採擇の結果其の必要を認めるものに對し、改修新設を断行するに決し、豫算案を市會へ提出することとなりたのである。	
市の中樞部を連絡する咽喉部に當る要衝であった、同地點は豊橋市の東部遊廓方面から	あるが此工費の内、約二十萬圓は關係住民の指定寄附に依り四萬圓は受益者負擔となり残る十一萬圓餘を市費支出すること	

用自動車五十五臺△貨物自動車四十二臺  
で之を一時間平均にする。

△人二百四十六人四分△人力車三臺八分

△自轉車百七十四臺五分△手車二十一臺

六分△乗用自動車四臺六分△貨物自動車

三臺五分

である而して午前六時から午後六時までの

間で一番交通頻繁な時間は

△午前八時から九時まで人四百五十二人

△人力車六臺△午後一時から二時まで自

轉車二百二臺△午後四時から五時まで手

車十九臺△午前八時から午後九時まで牛

馬三頭△午前十一時より十二時まで牛馬

車十臺△午前八時より九時まで乗用自動車

車五臺△午前九時より十時十一時より十

二時午後一時より二時まで貨物自動車各

々四臺づつ

であつたが之を一間道路にして計算する。

△人七百三十九人五分△人力車十一臺半

△自轉車五百二十三臺五分△手車六十四

臺八分△牛馬一匹三分△牛馬車十五臺三分△乗用自動車十三臺八分△貨物自動車

十臺三分

であるが右に依つて同道路が如何に交通が

輻輳して居るか判る。

## 近畿方面

### 觀橋橋の起工式

鮎で名高い天下の奇勝地、兵庫縣加東郡  
鬱瀧灘（加古川上流）は俗に瀧野の渡しと

云つて、渡船を以て人馬の交通に供して居

たが、こんど瀧野町と加茂村とで縣費補助

を得、橋梁を架設することとなり二月十三

日起工式を擧げた、橋の構造は鐵筋コンク

リート、延長六十間、幅員二間、工費三萬

五千餘圓で觀橋橋と命名した。

大阪の交通事故は年一年と増加して居て府保安課の調査に依ると昨年中に四千六百八十件の事故を惹き起してゐる。このうち事故の一一番多いのは近年激増した自動車に依るもので、二千四百六十件次いで電車八百九十一件、船舶四百三十四件、自轉車三百六十件等が主なものである。電車事故中市電の事故別を見るに車輛によるものは衝突十一件、接觸二百二十三件、脱線五十五件、その他七件、乗客並に通行人の不注意による事故は飛乗り二十八件、飛降り六十八件、軌道横断二百二十二件、軌道に接近して通行せるもの二十六件、軌道内通行者十四件、電車の急停車によるもの七件、墜落三十九件、その七十二件でまた自殺を企てたものが一件であつた。

是等市電事故の爲に死亡したものは十二名、重傷百十五名、輕傷六百十五名であつた、尚ほ之等の事故の發生場所を見るに、堺筋北濱附近の混雜の場所は比較的多く割

### 淋しい所に返つて

### 交通事故が多い

合に人通りの多い場所に多く、築港方面は八十五件に及んでゐる、これは雑沓場所では通行人の氣分が緊張してゐるに反して混雜しない場所では油斷してゐる。電車が無暗に速力を出すためで、十歳以下の少年や老人達に怪我人が多く血氣盛りの働き人には負傷者の多いのを見ても判る、時間では午前中は二百五十一件午後には五百二十三件を數へ午後五時から七時迄のラッシュアワーが其の大半を占めてゐる状態である。

四 國 方 面

開通した蓬萊橋

近代様式の粹を集めて

徳島縣三好郡辻町の（府縣道德島池田線）舊蓬萊橋は腐朽甚だしく其の架換は久しい問題であつたが、今回關係地方の努力に依つて縣下一の堅牢にして而も市街橋としての美觀を備へて實現された。

橋式は現代式鐵筋コンクリート桁橋、橋長三十尺、橋面アスファルト・プロック、全幅員二十尺、有效幅員十八尺で橋は小さく三叉路に當つて而も三線ともカーブをなし水面十八尺の高さにあるので交通上最も危険であり重要であるだけ技術者の苦心を要したことも一通りでなく長さ僅かに五間だが工費八千九百九十圓を要し、前後の取合道路の改修二十五間六分、設計者は道技手篠原次郎氏で昨年九月二十三日着手、本年二月四日を以つて完成したのである。

開通式は二月四日に行はれたが、明るく晴れた空を仰ぎ、町内は祝賀氣分に満ち朝來各戸の軒頭には日章旗を掲揚し、橋の兩端には立派なるアーチを設け萬國旗を以つて裝飾し非常な賑ひを呈した、式場は橋上に設備せられ來賓として知事、縣會副議長を始め各關係町村長有志約二百名着席、午後一時半天に轟く一發の煙火を合圖に式は型の如く始り午後一時四十分閉式引續き

蓬萊橋改築功ヲ竣工本日茲ニ開通ノ式ヲ舉クルニ至レルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ。抑モ德島池田線ハ縣下交通ノ幹線ニシテ殊に本橋架設地點ハ石ノ内辻線ヲ併セ且縣下屈指ノ名邑辻町ノ咽喉ヲ扼シテ往來頗ル頻繁ナリ。然ルニ舊橋ハ既ニ架設年久シク其ノ規模構造亦現代ノ交通ニ順應セサルノ憾アリ茲ニ於テ曩ニ改築ノ計ヲ樹テ客年九月工ヲ起シ今ヤ乃チ外觀ノ美構造ノ堅牢共ニ遺憾ナキ新橋ノ成ルヲ告ケ面目全ク一新セルヲ見ル。念フニ今後之ニ依リテ地方文化ノ進歩産業ノ發達ニ及ボス效果蓋シ鮮少ナルモノアラム。冀クハ將來本橋ノ利用ヲ完ウスルト共ニ益交通施設ノ改善ニ力ヲ致シ以テ其ノ效果ヲ長ニ收メラレムコトヲ一言述ヘテ祝辭トス。